

# 平成29年度事業計画

## I 基本的視点

平成29年度に、当協会の創立40周年、高齢者放送大学の開設40周年、阪神シニアカレッジの開設20周年を迎えるほか、平成31年度には主要な部門であるいなみ野学園の開設50周年、嬉野台生涯教育センターの開設40周年を迎えるなど、節目の時期にあたることから、以下の視点で協会運営に取り組む。

### 1 経営ビジョンの早期策定と事業への反映

従来と同様、「あらゆる世代の県民自らが積極的に生きがいを創造する活動を支援し、県民の福祉の増進に取り組む」ことを協会事業の目的とするが、大きく変化している社会状況に対応するため、昨年度より策定中の「経営ビジョン」（今後の協会運営の基本指針等）を早期に取りまとめ、29年度以降の事業に反映させる。

### 2 地域に開かれた施設として利用拡大

高齢者大学の入学者減少傾向や、各施設の利用者が伸びない（または減少している）ことから、地域との交流イベント・講座、啓発活動、施設開放、経営状況や事業情報などの公開（HP等）、マスコミ等に対し時宜を得たより積極的な広報事業の展開、知名度向上（「見える化」）、地域社会との連携強化を図り、地域に開かれ、愛される施設として、利用者増、利用率拡大を図る。

### 3 健全経営の維持

事業実施に当たっては、引き続き収入確保、コスト削減に努めるとともに、限られた経営資源（ヒト、カネ、施設等）を最大限に活用するなど、効率的な運営を行い、健全経営（収支均衡）を維持する。

### 4 職員の意識改革

協会の目指す目標を達成するには、職員一人一人が、経営者としての意識を持ち、協会の使命を理解し、県民ニーズに的確、効率的にこたえるよう、創意工夫等改善に努めることが必要。そのため、今回策定する「経営ビジョン」等を全員が理解し、その実現に努める。

## II 平成29年度実施事業

平成29年度もこれまでの成果を引き継ぎ、「生涯学習の総合的推進及び支援」「高齢者の生きが  
いづくりの推進及び支援」「地域文化活動の振興及び支援」「財団の健全経営及び県立施設の適正  
管理」の4つの基軸で各種事業を展開します。

なお、平成29年度から平成31年度にかけて、協会創立40周年、いなみ野学園開設50周年、  
高齢者放送大学（ひょうごラジオカレッジ）開設40周年、阪神シニアカレッジ開設20周年、嬉  
野台生涯教育センター開設40周年を迎えることとなるため、これを契機とした事業を展開します。

### 1 生涯学習の総合的推進及び支援

「ひょうごインターキャンパス」の活用等により各種の生涯学習情報を提供するとともに、生  
涯学習関係機関との連携に努め、あわせて生涯学習リーダーや次代を担う人材の養成を図りま  
す。

#### (1) 生涯学習に係る調査研究・情報提供

生涯学習公開講座を開催するほか、大学、企業、生涯学習関係団体等との連携のもと、生涯  
学習に係る調査研究を進めるとともに、「ひょうごインターキャンパス」や「生涯学習リーダ  
ーバンク」等の運営により生涯学習情報を提供します。

#### (2) 生涯学習ネットワークの推進

生活創造情報プラザを運営し県民の活動拠点を提供するとともに、教育機関、文化施設、県  
公民館連合会等生涯学習の関係機関との連携を進めます。

#### (3) 生涯学習リーダー等の養成

ふるさとひょうご創生塾、社会教育関係職員等研修、ひょうご冒険教育（HAP）、高齢者  
大学等運営サポーター制度や生涯学習指導者研修等により、生涯学習や地域づくりに係る人材  
育成・人材活用を進めます。

#### (4) 次代を担う人づくりの支援

ユースセミナー、自然学校、子ども作品展、元気っ子フェスティバルの開催等次代を担う青  
少年の育成を進めます。

## 2 高齢者の生きがいづくりの推進及び支援

いなみ野学園等各地において4年制高齢者大学、2年制大学院等講座、高齢者放送大学（ひょう  
ごラジオカレッジ）を運営するとともに、県内の高齢者大学の交流を進めます。また、地域活動支  
援センターを運営し、学園生や卒業生の地域づくり活動の普及促進や生きがいづくり活動の支援  
を進めます。

高齢者放送大学（ひょうごラジオカレッジ）開設40周年の記念事業を実施するとともに、平成  
31年度に開設50周年を迎えるいなみ野学園の記念事業の準備を進めます。

### (1) 高齢者大学による人づくりの推進

カリキュラムの充実強化のもと、いなみ野学園等で4年制大学講座、2年制大学院等講座、  
高齢者放送大学（ひょうごラジオカレッジ）を運営します。いなみ野学園及び阪神シニアカレ  
ッジでは、講座の聴講を認める聴講生制度を実施するとともに、いなみ野学園では研究生制度

により生涯学習の講師となる人材育成を図ります。

高齢者放送大学開設40周年にあわせ、記念放送を実施するとともに、平成31年度にいなみ野学園開設50周年を迎えることから、記念事業の実行体制を整え、記念事業や寄付金設置の検討を進めます。

#### **(2) 地域づくり活動リーダーの養成**

いなみ野学園大学院、阪神ひと・まち創造講座、文化会館等での地域活動実践講座(大学院)を運営します。

#### **(3) 県内の高齢者大学の交流・支援**

学ぶ高齢者のつどいの開催など県内高齢者大学の交流を図るとともに、高齢者学習研究協議会による県内高齢者学習機関の情報交流等を進めます。

#### **(4) 地域づくり活動の普及促進**

いなみ野学園、阪神シニアカレッジに設置した地域活動支援センターを運営し、高齢者大学学生・卒業生の地域づくり活動支援に取り組みます。

#### **(5) 生きがいづくり活動の支援**

全国健康福祉祭への選手派遣を行うとともに、高齢者手づくりの店、高齢者園芸センター、高齢者陶芸の村を引き続き運営します。

### **3 地域文化活動の振興及び支援**

県下各地域の特色ある地域文化の振興及び支援を進めます。

#### **(1) 地域文化活動の振興**

県下各地域の特色ある地域文化の振興を通じ、人づくりを支援します。

- ・嬉野台生涯教育センター（うれしの春のフェスティバル、東はりまみんよう大会 等）
- ・但馬文教府（但馬美術展、ふるさとの心をうたう但馬合唱祭、但馬文学のつどい 等）
- ・西播磨文化会館（播州段文音頭大会、西播磨短歌祭 等）
- ・淡路文化会館（淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会、淡路だんじり唄コンクール 等）

#### **(2) 地域の特色ある文化振興事業の実施**

県下各地域文化団体等の運営を支援します。

### **4 財団の健全経営及び県立施設の適正管理**

#### **(1) 財団の健全経営**

協会の取り組むべき事業、収支改善等今後の経営方向性、見通し・あるべき姿を明らかにするとともに、いなみ野学園開設50周年記念事業等を推進する「生きがい創造会議未来100」を運営します。また、広報推進員等による情報発信の強化に努めます。

#### **(2) 便利で親しまれる県立施設の適正管理**

不断の工夫により施設の効率的な運営と学習・地域づくりの拠点としての活性化を図ります。

### Ⅲ 平成29年度事業計画

※中項目または事業名の後の（ ）は実施機関

#### 1 生涯学習の総合的推進及び支援

##### (1) 生涯学習に係る情報提供・調査研究

事業名	事業概要
①生涯学習情報の提供・相談 (協会本部)	講座、イベント、学校に関するチラシ・パンフレット等をそろえ、各種の生涯学習情報を提供するとともに、学習者からの相談にも応えます。 ○生涯学習情報コーナー（ハーバーランド庁舎6階） 開館日時：月～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）9:00～17:15 電話番号：078-360-9015
②生涯学習の調査・研究 (協会本部)	生涯学習が地域づくりの担い手育成の役割を果たせるよう、大学、企業、生涯学習関係団体等との連携のもと、調査・研究を進めていきます。
③生涯学習情報ネットワークシステム『ひょうごインターキャンパス』 (協会本部)	「幅広い生涯学習情報の提供」等を行うウェブサイトで、教育機関・民間企業・行政等様々な生涯学習機関と連携し、講座・イベント情報、施設・団体・グループ情報等の多彩な学習情報を提供します。
④生涯学習リーダーバンク (協会本部)	学習によって得た知識や技能をボランティア指導者として社会に還元するため、学習グループなどの活動支援を希望する人を「生涯学習リーダーバンク」に登録し、「ひょうごインターキャンパス」を通じて登録者情報を提供します。
⑤生涯学習推進アドバイザー (協会本部)	市町や生涯学習関係機関が抱える生涯学習に関する様々な課題の解決を支援するため、生涯学習に関する豊富な知見と実績を有する有識者である「生涯学習推進アドバイザー」を、各機関の要請に応じて派遣します。
⑥生涯学習公開講座 (いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)	高齢者大学等において、各界の著名人による公開講座を開催し、広く県民に対して高齢者大学への関心を高めるとともに、生涯学習への意識啓発を図っていきます。

## (2) 生涯学習ネットワークの推進

事業名	事業概要	
① 公民館連合会や高齢者学習研究協議会等との連携事業の実施 (協会本部)	<p>公民館連合会や高齢者学習研究協議会等の運営支援や研修を行うとともに、協会が実施する生涯学習の調査研究への各団体の参画により、その成果を共有し、生涯学習事業の質的向上を図ります。</p> <p>○第39回全国公民館研究集会(第65回近畿公民館大会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日:平成29年11月30日(木)～12月1日(金)</li> <li>・開催場所:神戸ポートピアホテル</li> </ul>	
② 関西シニア大学校交流事業 (協会本部)	<p>関西の高齢者大学学生・OB等が一堂に会し、互いに知識を深め、交流の輪を広げることを目的として実施している「関西シニア大学校交流事業」に参加します。(開催地:徳島県)</p>	
③ 生活創造情報プラザ (嬉野台、但馬、西播磨、淡路)	<p>芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動等、県民による主体的な活動(生活創造活動)の拠点施設を運営します。</p> <p>ア 生活創造活動グループの登録 芸術、文化、環境保全、健康、福祉、子育て、まちづくり、消費生活、男女共同参画など、生活創造活動をしているグループ</p> <p>イ 登録グループへの支援等 パフォーマンススペース、交流スペース、活動ブース、印刷室、保育ルーム、ロッカールーム、メールボックスの提供等</p> <p>グループ交流会の開催、生活創造応援隊の支援 等</p>	
④ 地域コミュニティの生涯学習支援 (嬉野台、但馬、西播磨、淡路)	<p>豊かな地域コミュニティの創造、県民交流広場等に関するテーマで生活創造グループが活動する際に、構成員のスキルアップを図るためにコミュニティ応援隊から情報誌作成等のための講師を派遣するなど、地域コミュニティの生涯学習を支援します。</p>	
⑤ 生涯学習関係機関との連携	ア 兵庫県立大学等 (協会本部)	<p>兵庫県立大学等が構成員となっている「産学公人材イノベーション推進協議会」に参加し、いなみ野学園での県立大学講師派遣等を進めます。</p>
	イ 兵庫教育大学 (協会本部、いなみ野、嬉野台)	<p>連携講座をいなみ野学園で開催するとともに、嬉野台生涯教育センターにおける「うれしの台ユースセミナー」を活用した学生の教育実習を実施します。</p>
	ウ 兵庫大学・兵庫大学短期大学部 (協会本部・いなみ野)	<p>施設利用や科目等履修などにより大学生と高齢者大学生との交流を深め、地域における高齢者学習の在り方や地域づくり活動等について協力関係を深めます。稲刈りなどの世代間交流事業を実施します。</p>
	エ 甲子園大学 (阪神)	<p>甲子園大学において高齢者大学用の特別講義を実施するとともに、高齢者大学講座に大学生が参加し、多世代交流を進めています。</p>

オ 県立社高等学校、 加東市立中学校、 小学校、幼稚園 (嬉野台)	うれしの学園生涯大学の講座の中で、中学生との弁論大会、調理実習、体力測定及び小学生や幼稚園児との田植え、稲刈りなどの世代間交流事業を実施します。
カ 豊岡短期大学 (但馬)	高齢者大学地域活動実践講座における連携講座の実施や大学祭等の相互参画により、多世代交流を進め、互いの良さを認識し、地域社会に貢献できる人材の育成を促進します。
キ 県立龍野北高等学校 (西播磨)	高齢者大学と龍野北高校生との連携講座や学園祭への相互参加等を通じた異世代交流、龍野北高校生による西播磨文化会館敷地内の遊歩道整備などにより、地域社会に貢献できる人材の育成を促進します。
ク 兵庫陶芸美術館・県立考古博物館 (協会本部)	高齢者大学へ講師派遣、講座への助言を受けるとともに、兵庫陶芸美術館・県立考古博物館事業のPR協力や、高齢者大学学生の美術館・博物館事業への積極的な参加などの連携を推進します。
⑥ 県内文化施設との連携 による施設利用促進 (協会本部、いなみ 野、放送大、阪神、 嬉野台、但馬、西播 磨、淡路)	県内の主な文化施設（美術館、博物館等）との間に県高齢者大学生等の割引利用協定を締結し、学生の多様な学習ニーズに対応するとともに、各文化施設の利用促進を図ります。  割引利用の手続き：協会作成の i・card（あいカード）を文化施設に提示  割引率：平均 2 割（ほとんどの施設は高齢者割引と併用可）

### (3) 生涯学習リーダー等の養成

#### ① ふるさとひょうご創生塾（協会本部）

魅力あるリーダーシップを持った、ふるさとづくりの「新しい地域リーダー」を育成するため、基礎的な力を実際の地域活動で応用できる力へとスキルアップを図るため「ふるさとひょうご創生塾」を運営します。

#### 〔塾資格・定員等〕

入塾資格	地域づくりのための知識を学び、地域づくりのリーダーとして活動することができる者（県内に在住、在勤、在学）
学習年限	2年
授業日等	原則として1年次は毎月第2・3土曜日、2年次は第4土曜日の10時から16時
学習場所	神戸クリスタルタワー内会議室等
定員	30名
経費	受講料（年間）30,000円
運営体制	塾長や学識経験者、実践家による「企画運営委員会」を設置し、時代の流れに即応したテーマを講座に反映します。

## ② 社会教育関係職員等研修（協会本部）

### ア 新任社会教育関係職員等研修

社会教育関係職員として、職務を遂行する上で求められる基礎的知識や技能を習得するための研修を実施します。

- ・開催回数 年1回（6月に1日間）
- ・対象者 社会教育・生涯学習関係職員等（経験2年未満程度）

### イ 社会教育関係職員スキルアップ研修

企画能力、広報力、事業評価力など社会教育推進に向けた専門的な知識や技能を習得するための研修を実施します。

- ・開催回数 年5回（7～9月に計5日間）
- ・対象者 社会教育・生涯学習関係職員等

### ウ 社会教育・生涯学習主管課長及び社会教育施設長等研修

社会教育主管課長や公民館長を対象に社会教育・生涯学習の動向を学ぶとともに研究協議を行う研修を実施します。

- ・開催回数 年1回（7月に1日間）
- ・対象者 社会教育・生涯学習主管課長、公民館長等社会教育施設の長等

## ③ 高齢者大学等運営サポーター（協会本部、いなみ野、放送大）

いなみ野学園、高齢者放送大学等において、高齢者大学の講座運営等を支援する高齢者大学等運営サポーターを募集、登録し、高齢者大学卒業生等の学習成果を活かしていくとともに、高齢者大学等の活性化を図っていきます。

### ア 学園運営サポーター

学園等での学習成果を講座運営や事業実施に生かし、また企画・カリキュラム編成などに参加してもらうことにより、学園等の活性化を図ります。

種 別	内 容
陶芸学科運営サポーター (3名)	学科テキストの作成や配布資料の作成、または園外学習や出前教室等地域活動の企画・運営を行います。 〔採用対象〕 大学卒業生、大学院等修了生、いなみ野学園職員OB
地域活動支援センター運営サポーター (3名)	学生や卒業生による地域活動を促進するため、活動の調整や情報の発信、指導助言を行います。 〔採用対象〕 大学院等修了生、いなみ野学園職員OB
ラジオ番組事業サポーター (32名)	協会がラジオ関西と共同して放送する、いなみ野学園生によるシニア向けの情報提供番組の制作を助けるため、取材活動や放送業務を補助します。 〔採用対象〕 大学生・大学院生

### イ みどりのサポーター

いなみ野学園敷地内の庭木や草花の植栽管理活動を行う「みどりのサポーター」を募集・登録し、「いなみ野ガーデニングの日」に学園敷地内の植栽管理活動を行っていただきます。

- ・対象者 いなみ野学園卒業生
- ・募集人員 30名
- ・活動日数 年4回

#### ウ ラジオカレッジサポーター

テキスト等の編集や発送に関すること、行事開催に関することなど、ラジオカレッジ運営を支援する「ラジオカレッジサポーター」を募集・登録し、各種事業にスタッフとして参加していただきます。

- ・対象者 ラジオカレッジ学生
- ・募集人員 20名
- ・活動日数 年12回程度

#### ④ いなみ野学園研究生制度（いなみ野）

高齢者大学の卒業生を活用した生涯学習指導者の養成を図るため、いなみ野学園大学院修了者を対象として、生涯学習指導者としての研究及び実践活動を行う研究生制度を運営します。

対象者	いなみ野学園大学院修了者
研究期間	3年以内
内容	研究計画書の提出及び研究期間末に成果報告を提出します。 大学院講座学科主任又は同講座講師の個別指導を受講します。 いなみ野学園大学講座の特任講師として講義を奨励します。
定員	規定せず（応募者を面接し、認定）
経費	負担金（年間）35,000円

#### ⑤ ひょうご冒険教育（HAP）に係るセミナー・講習会（嬉野台）

冒険教育を必要とする人のために、体験を通じてひょうご冒険教育（HAP）の効果について理解を図ります。

また、教育関係者やひょうご冒険教育（HAP）に携わる指導者等のセミナー及び講習会を開催し、指導者等の資質向上を図ります。

- ・活動回数 年9回（6月～3月の各1～3日間）
- ・対象者 社会教育、野外教育、学校教育、生涯学習、社員教育等の関係者



⑥ 野外活動指導者養成講座（嬉野台）

基本的な野外活動の知識や技能を習得することで、野外活動の指導者やリーダーとしての資質を養います。

- ・活動回数 年1回
- ・対象者 野外活動に関心のある者

⑦ 全県野外活動フォーラム（嬉野台）

県下の野外活動団体の指導者等が一堂に会し、活動内容、専門性について情報交換するとともに、今日的課題や野外活動のあり方、マネジメント等についての研修を行います。

- ・活動回数 年1回（12月に1日間）
- ・対象者 野外活動指導者

⑧ 兵庫教育大学との連携による生涯学習指導者育成研修（嬉野台）

青少年の体験活動や野外活動に関する基本的な理論と実技を修得する教育実習（フレンドシップ実習：兵庫教育大学における必修科目）を実施します。

（教育実習生を「うれしの台ユースセミナー」におけるリーダーとする。）

- ・対象者 兵庫教育大学教育実習生（2年生）

（4）次代を担う人づくりの支援

① うれしの台ユースセミナー（嬉野台）

豊かな感性を育む自然体験、課題解決能力を育む社会体験、自立協調性を育む生活体験等の様々な体験活動を通じてたくましいひょうごっ子を育成する機会を提供します。

開設：夏（7～8月）に10コース、冬に3コース

対象者：小学生・中学生・高校生

定員：各コース30～50名（全520名程度）

受講料：一人17,000円～32,000円程度

② 自然学校等学習プログラムの作成支援（嬉野台）

様々な体験活動を通じて心身の調和、「生きる力」を育むため、自然学校やトライやる・ウィーク、総合的な学習の時間への対応、オリエンテーション、集団合宿、課外活動等、より充実した活動プログラムの作成を支援します。

対象者：幼稚園児・小学生・中学生・高校生の指導者

③ ひょうご・ロシアハバロフスク少年少女交流事業（嬉野台）

ロシア・ハバロフスク地方から少年少女を本県に受け入れ、県内の子どもたちとの交流活動や施設見学を通して、国際理解教育や環境学習の推進を図ります。

時期等：7月、7泊8日で訪問団を受け入れ

訪問団：児童・生徒12名、引率者4名 計16名（H27年度実績）

（県教育委員会社会教育課からの受託事業）

- ④ ひょうご冒険教育（HAP）等による民間団体等の人材育成支援（嬉野台）  
企業や社会教育団体が行う人材育成としての研修会等を誘致し、ひょうご冒険教育（HAP）等の機能を活用した集団研修を実施します。  
対象者：県民
- ⑤ 小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」発行（但馬）  
小・中学生から作文、詩を募集し、優秀作品を「但馬の子ども」に掲載します。  
生活部門：作文、詩 環境部門：作文  
応募期間：平成29年9月1日（金）～10月20日（金）  
対象者：但馬地域の小・中学生
- ⑥ 科学する但馬の子ども作品展、研究集録発行（但馬）  
理科に基礎をおく研究記録、観察記録、科学工作品や模型などの作品展を開催し、優秀作品を掲載した研究集録を発行します。  
作品展：平成29年9月15日（金）～24日（日） [予定]  
研究集録の発行：平成30年3月  
対象者：但馬地域の小・中学生
- ⑦ いざなぎの丘元気っ子フェスティバル（淡路）  
淡路地域で活動する個人や団体が、子どもの健全育成を目的とした様々なプログラムを出展し、こころ豊かで健やかな子どもの育成とともに、豊かなコミュニティ社会の実現を図ります。  
実施日：平成29年10月1日（日）  
実施場所：淡路文化会館  
出展予定：手作り教室、地場産業体験、遊び・ゲーム等のブース、子どもたちの活動成果の舞台・展示発表 など
- ⑧ 生涯学習関係機関との連携（再掲 P7）

## 2 高齢者の生きがいつくりの推進及び支援

### (1) 高齢者大学による人づくりの推進

#### ① 4年制大学講座等

##### ア いなみ野学園（4年制大学講座）（いなみ野）

高齢者が自ら仲間づくりの輪を広げ、生涯学習を通して教養をより高めるとともに、自己の新しい生き方を創造し、地域社会の発展に寄与できるよう、総合的、体系的な学習機会を提供します。

#### 〔入学資格・定員等〕

入学資格	60歳以上の県内在住者で、学習や地域活動に意欲のある者	
学習年限	4年	
授業日等	授業日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年＝月曜日</li> <li>・第2学年＝火曜日</li> <li>・第3学年＝木曜日</li> <li>・第4学年＝金曜日</li> </ul>
	授業時間数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業 週1回</li> <li>・毎日の授業時間数＝90分×2回の講義、実習と園外実習。原則として、午前は共通講座、午後は学科別講座。</li> </ul>
定員	園芸学科 = 100名 健康づくり学科 = 100名 文化学科 = 100名 陶芸学科 = 40名      計340名	
経費	入学金 6,000円      ・受講料（年間） 50,000円 その他実習費等	

#### 〔講座内容〕

講座名	学習目標	学習内容
共通講座	こころ豊かに暮らすための知識や生き方、課題について学ぶことにより、不易流行を心がけた市民として地域社会に貢献する能力を養います。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 歴史や文化、自然、生き方、人間関係を学び、個人の資質を高め生きがいを見出します。</li> <li>2 健康づくりを進め、安全な暮らしを創るため、健康・医療、福祉・介護、政治・経済、防災・防犯について学びます。</li> <li>3 時代を見つめ、幅広い視野に立って地域に参画するため、社会の動きや時々の問題について学びます。</li> </ol>

専門講座	園芸 学科	自然とのふれあいや収穫の喜びを通して、ゆとりと安らぎが実感できるライフスタイルを実現するとともに、環境への関心を高めることにより、学習を通じて地域社会に貢献する能力を養います。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎的な園芸作物の栽培・管理を学び、日々の生活に潤いを見出します。</li> <li>2 命を育む大切さを知るとともに、自然とのふれあいや収穫の喜びを体験します。</li> <li>3 1年次は各コース（野菜、ガーデニング・草花、果樹、庭木）の実習を体験し、2年次からは選択コースで専門的に学びます。</li> <li>4 グループによる学習を体験し、地域での活動につなげます。</li> </ol>
	健康 づくり 学科	こころとからだの調和がとれたより良い生活をめざすとともに、健康づくりを通じて地域社会に貢献する能力を養います。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 こころとからだ、運動、健康と環境、福祉と医療、社会参加の5領域についての知識と技能を系統的に習得します。</li> <li>2 上記5領域を仲間とともに学ぶことを通じて、グループや地域の人々と楽しみながら健康維持に取り組むことができるようにします。</li> <li>3 ウォーキングや脳トレ、ストレッチなどを主として、広く健康づくりを支援できる人材（健康サポーター）を育てます。</li> </ol>
	文化 学科	学びを通して文化に関する教養を深め、地域社会に貢献する能力を養います。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域での生き方を考えるために、地域文化を学ぶとともに、研究活動を行います。</li> <li>2 学びを通して文化に対する認識を深め、異文化交流を促進します。</li> <li>3 自己表現の能力を高めるために、広く芸術の世界に親しみ、ミュージカルに挑戦します。</li> </ol>
	陶芸 学科	陶芸に関する基礎的な知識や技能を学び創作するとともに、作品鑑賞を通じた豊かな心の醸成により、地域社会に貢献する能力を養います。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 4年間で作陶の制作手順を理解するとともに、さまざまな技法を学び、技能を高めます。</li> <li>2 陶芸や彫刻などの芸術作品を幅広く鑑賞し、美術・工芸への感性や鑑賞力を高めます。</li> <li>3 卒業制作展覧会準備や窯の焼成作業などを通じてグループ活動を行います。</li> </ol>

## イ 阪神シニアカレッジ(4年制大学講座) (阪神)

高齢者が生涯学習を通して教養をより高めるとともに、「生涯現役」として創造的に生きるための多彩なプログラムを提供します。

また、平成31年に予定する専用学舎での「学び」に向け、施設整備について主管課と連携しながら進めるとともに、運営面での諸準備を進めます。

さらに、カレッジ20周年記念事業に今年度から取り組み（記念公開講座、記念学生文化祭など予定）、「専用学舎」竣工、開学時に予定する記念事業メインイベントに向け、「新生」阪神シニアカレッジをアピールしていきます。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	生涯学習に関心のある60歳以上の神戸・阪神地域在住者
学習年限	4年
授業日等	授 業 週2回（共通講座1日、専門講座1日） 毎日の授業時間数＝90分の講義、実習と園外実習
定 員	園 芸 学 科＝50名 健 康 学 科＝50名 国際理解学科＝50名 計150名
経 費	入学金 6,000円 受講料（年間） 50,000円 実習費（年間） 園芸学科のみ3,000円

〔講座内容〕

区分	学習目標	学習内容	学習場所
共通講座	①3学科に共通して必要な分野（人間、社会、芸術・文化、自然科学、環境など）、②地域の魅力や課題を探り地域活動について学ぶ分野、③コミュニケーションについて学ぶ分野に重点を置き、3学科で習得する知識を総合化し、より豊かなものにします。	人間、社会、芸術文化、自然科学、環境、地域・地域活動、コミュニケーション等	宝塚学習室 （宝塚市：阪急宝塚駅隣接ソリオ2-5階）
専門講座 園芸学科	野菜、草花、果樹、庭木等栽培を中心として、基礎から応用まで段階的に知識・技術を習得します。これにより、園芸を通じた豊かな暮らしの実現、健康で楽しいシニアライフが送れるよう支援します。また、グループによる栽培自主研究活動等を通じ、園芸技術を生かした地域活動に繋がります。	栽培の基礎、土壌と肥料、病害虫の防除、草花栽培の基礎、プランター園芸、ガーデニング、野菜等の栽培実習、生物多様性、フィールドワーク等 ※3年次からはグループ学習・研究を実施	宝塚学習室及び園芸学科農園 （宝塚市）

健康学科	健康で活動的なシニアライフを害する生活習慣や環境要因について、正しい知識を習得するとともに、その改善手法を学び、実践していきます。これにより、様々な情報、体験の中から、自らの健康長寿に必要なものを選択し、実行する力を養います。また、習得した知恵を地域社会、次の世代の人たちに伝えられるよう、学習します。	健康に関する医学的知識、環境要因が健康に与える影響、健康長寿を実現する実践的知識、軽スポーツ、スポーツリーダー資格取得等 ※3年次からはグループ学習・研究を実施	西宮学習室 (西宮市：県立西宮香風高校内)
国際理解学科	世界の諸地域の現状やグローバル化の状況を様々な角度から学び、その光と影についても考えます。また、グローバルな視野で、私たちの生活、私たちが住む国・地域社会を振り返り、その課題を考えるとともに、多文化共生社会の実現について考察を深めます。	国際時事問題、国際的ルールと日本社会、地球的課題と日本社会、世界の文化と異文化理解、多文化共生と地域の国際化等 ※3年次からはグループ学習・研究を実施	尼崎学習室 (尼崎市：中小企業センター内)

#### ウ うれしの学園生涯大学(4年制大学講座)(嬉野台)

生涯学習の一環として、高齢者に総合的・体系的な学習機会を提供し、生きがいある充実した生活基盤を確立することを目指すと共に、地域活動の実践者を養成することにより、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進に寄与することを目的とします。

##### 〔入学資格・定員等〕

入学資格	おおむね60歳以上の原則東播磨・北播磨地域在住で、地域での活動に関心や意欲のある方。
学習年限	4年
授業日等	開設期間 平成29年4月25日～30年3月6日(全20日間) 開講日 原則として月2回隔週火曜日
定員	60名
経費	受講料(年間)12,500円

〔講座内容〕

講座区分	学習目標	学習内容
共通講座 (総合講座)	地域活動実践上の基礎となる知識やスキル、ノウハウを習得します。	仲間づくりやコミュニケーション、地域づくりの基礎に関する学習、学年別宿泊研修（世代間交流や自主企画講座など）、学園祭（舞台発表、作品展、記念講演、スポーツ大会）、実践発表会、入学式（記念講演）、修了証書授与式等を行います。
専門講座	地域活動実践を行うための背景となる現代的課題や地域への認識を深めます。	健康の増進、病気の予防、社会福祉、国際理解、男女共同参画、次世代育成支援、環境問題、消費者問題、郷土文化歴史、地域産業、時事問題、防災等について学びます。

エ 但馬文教府みてやま学園(4年制大学講座)(但馬)

豊かで生きがいのある生活を送るために、自己の健康づくりや地域づくり活動の実践力を培うなどの生涯学習の機会を提供するとともに、ここでの学びを通して長寿社会を担う地域活動の実践者を養成し、生きがいづくりや社会参加の推進に寄与することを目的とします。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	おおむね60歳以上の但馬地域在住者
学習年限	4年
授業日等	開設期間 平成29年4月14日～30年3月2日(全25日間) 開講日 原則として月2回隔週金曜日
定員	60名
経費	受講料(年間)12,500円

〔講座内容〕

講座区分	学習目標	学習内容
共通講座 (教養講座)	変貌する社会の課題に柔軟に対応するための教養、知識を習得します。	全5回 ・今日的課題に関する講座4回 ・文教府夏期大学1回
専門講座	健康づくり・実践コース	・リズム体操やツグゲットボールなど、楽しく体を動かす。
	健康づくり・理論コース	・高齢者の病気、食生活、医療や介護などについて学ぶ。 (靴と足の科学、音楽と健康、骨粗鬆症、生活習慣病等)

	但馬の文化コース	※ 左の7コースから2コース選択、6回×2コース=12回	・但馬の歴史、文化、芸能、人物等について学ぶ。 (香住の三番そう、川下祭りと麒麟獅子、出石のお城まつり 等)
	但馬の自然・産業コース		・但馬の自然やそれを生かした産業について学ぶ。 (但馬牛の歴史・特徴、但馬の杜氏と酒祭り、但馬の漁業 等)
	麦わら細工コース		・城崎に伝わる伝統工芸、麦わら細工の作品づくりを学ぶ。
	書道コース		・書道の基本を学び、楷書・行書の作品づくりを学ぶ。
	園芸コース		・苔玉づくりや庭木、盆栽の整枝・剪定の仕方などを学ぶ。

### オ 西播磨文化会館ゆうゆう学園(4年制大学講座)(西播磨)

生涯学習の一環として、高齢者に組織的な学習の機会を提供し、生きがいある充実した生活基盤を確立することを目指すとともに、地域活動の実践に役立つ専門知識や技能を身につけ、地域の活性化等に寄与することを目的とします。

#### 〔入学資格・定員等〕

入学資格	おおむね60歳以上の中播磨・西播磨地域在住者
学習年限	4年
授業日等	開設期間 平成29年4月28日～30年3月9日(全25日間) 開講日 原則として月2回隔週金曜日
定員	60名
経費	受講料(年間)12,500円

#### 〔講座内容〕

講座区分	学習目標	学習内容
共通講座 (教養講座)	変貌する社会の課題に柔軟に対応するための教養、知識を習得します。	・高齢者の役割と生き方、社会の現状認識、地域の将来、地域づくり活動、人権・道徳、政治・経済、歴史・文化、環境、その他
専門講座	環境創造コース	・高齢者の生きがいづくり及び地域の特性や課題に対応した地域活動についての専門的知識、実践力を養成します。
		・自然環境や社会環境の現状とあるべき将来について学び、健やかで安全に暮らせる環境づくりを実践するための専門的知識や実践力を身につける。



	健康福祉 コース	※左の3コースか ら1コース選択	・心身の健康や福祉について学び、地域活動 やボランティア活動に必要な専門的知識や 実践力を身につける。
	地域文化 コース		・地域文化や歴史等について学び、まちづく りや社会教育活動、地域間・世代間交流な ど、地域活動に貢献できる専門的知識や実 践力を身につける。
	学年別講座	自主性、企画力、 実践力の養成	・学年に応じた学習内容を自主企画し実践す る。

#### カ 淡路文化会館いざなぎ学園(4年制大学講座)(淡路)

高齢者が自ら仲間づくりの輪をひろげ、総合的・体系的な学習を通して教養、技能を高めるとともに、生きがいつくりや地域の発展に寄与できる人材の育成を目指し、専門的かつ実践的な学習の機会を提供します。

#### 〔入学資格・定員等〕

入学資格	おおむね60歳以上の県内在住者
学習年限	4年
授業日等	開設期間 平成29年4月26日～30年3月14日(全26回) 開講日 原則として月2回隔週水曜日
定員	60名
経費	受講料(年間)12,500円

#### 〔講座内容〕

講座区分		学習目標	学習内容
共通講座 (教養講座)		充実した生活基盤 の確立や社会変化 に対応するために 必要な教養を身に つけます。	・郷土文化、生活、芸術、時事、健康など
専門講座	歴史文化 コース	自己の興味関心を 伸ばします。 生活実践力を育成 します。 ※1コース選択	・淡路、兵庫、日本に関する歴史文化
	健康環境 コース		・健康、福祉、医療、環境(エコ)、エネ ルギー

実技実習講座	幅広い知識と技能を習得するとともに、チャレンジ意欲を高揚します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食、ものづくり、健康運動から選択する体験学習</li> <li>・防災学習、環境学習</li> </ul>
学年別講座	学びのプロセスの習得により段階的に地域学習・地域実践の能力を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全講習</li> <li>・交流学习</li> <li>・テーマ学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>1年「仲間と共に」</li> <li>2年「淡路を知ろう」</li> <li>3年「地域交流と実践」</li> <li>4年「学びを生かして（成果発表）」</li> </ul> </li> </ul>
特別講座	淡路だんじり唄コンクール、いざなぎの丘元気っ子フェスティバル、淡路島民俗芸能フェスティバル 等	

## ② 高齢者放送大学（ひょうごラジオカレッジ）（放送大）

県内の高齢者に広く人間としての更なる円熟を目指した生涯学習の機会を提供し、長寿社会における生きがいの創造に寄与していきます。

### 〔入学資格・定員等〕

入学資格	<p>本科生：兵庫県内に在住する満50歳以上の者</p> <p>聴講生：居住地、年齢等不問</p> <p>生涯聴講生：原則として本科を修了した者</p>
学習年限	<p>本科生：1年</p> <p>※聴講生、生涯聴講生は1年ごとに更新します。</p>
定員	<p>本科生：500名</p> <p>※聴講生、生涯聴講生は定員を設けません。</p>
経費	<p>本科生 6,000円</p> <p>聴講生・生涯聴講生 5,000円</p> <p>※テキスト購読料を含む年額</p>
自主活動	<p>県内各地にラジオカレッジ友の会が自主的に結成され、現在30の友の会が活動中です。</p> <p>各友の会はお互いに交流を図りながら、学習会やボランティア活動などを自主的に実施しています。</p>

〔講座内容〕

講座等	運営方針等	学習方法等
ラジオ講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週土曜日午前7時から30分間のラジオ講座（ラジオ関西558キロヘルツ・但馬地区は1395キロヘルツ）を放送します。</li> </ul> (学習内容) <ol style="list-style-type: none"> <li>①健康・医療に関するもの</li> <li>②文化・歴史に関するもの</li> <li>③生きがいつくりに関するもの</li> <li>④政治・経済、自然科学、地域づくり、その他社会的話題性を有する事項に関するもの</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴講後、はがき1枚での感想文（レポート）を提出していただきます。</li> <li>・本科生に対しては月1回程度往復はがきで提出された感想文について返信用はがきを用いて個々に助言します。</li> <li>・講義の概要や学生の感想文などを掲載したテキストを毎月1回発行します。</li> <li>・増刊号、特集号を年間各1回発行します。</li> <li>・テキストをもとに講座の予習や学習の深化などを自主的に行っていただきます。</li> </ul>
スクーリング 及び 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生相互あるいは学生と講師・職員との交流を深めるため、スクーリング、研修旅行、春のつどい、文芸祭を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央スクーリング（年2回） いなみ野学園キャンパス</li> <li>・地方スクーリング（各年1回） 阪神・神戸、丹波、但馬、西播磨、東播磨、淡路の各地域</li> </ul>

- ③ 高齢者放送大学（ひょうごラジオカレッジ）開設40周年記念事業（放送大）  
 高齢者放送大学（ひょうごラジオカレッジ）が開設40周年を迎えるにあたり、ラジオ講座で記念放送を行います。
- ④ 聴講生制度（いなみ野、阪神）  
 いなみ野学園・阪神シニアカレッジの高齢者大学の講座の一部を公開し、地域づくりについて学ぶきっかけづくりや実践活動の充実につなげていきます。  
 さらに「人生100年時代」に対応して退職後の生き方を考える世代（退職準備世代）に学びの場を提供し、就業・介護等の事情から高齢者大学への入学が困難な層にも学習の機会を提供します。
- ⑤ いなみ野学園研究生制度（いなみ野）（再掲 P10）
- ⑥ 高齢者大学等運営サポーター（協会本部、いなみ野、放送大）（再掲 P9）
- ⑦ いなみ野学園生によるシニア向け情報提供番組（いなみ野）  
 ラジオ関西と共同して、学園生が自主企画・制作したシニア向け情報を提供するラジオ番組を放送します。  
 ・ラジオ関西 毎週土曜日 6:45～（15分間）
- ⑧ いなみ野学園開設50周年記念事業推進（いなみ野）  
 いなみ野学園は、全国初の本格的高齢者大学として、昭和44年6月に開設され、平成31年度に50周年を迎えることとなります。この記念事業を実施するため、

いなみ野学園・生きがい創造協会職員、学園生、卒業生が一体となって、体制を整え、知恵を出し合い、記念プロジェクト、基金募集、記念式典等の推進を図ります。

## (2) 地域づくり活動リーダーの養成

### ① いなみ野学園大学院（いなみ野）

高齢者大学講座等で学んできた知識や技能を掘り下げ、個人や地域の力を再発見することにより、地域での活動をはじめ、地域づくりに役立つさまざまな活動の手法を学びます。

#### 〔入学資格・定員等〕

入学資格	2年制以上の高齢者大学講座等を卒業（修了）した者
学習年限	2年
授業日等	授業日 第1学年＝火曜日 第2学年＝金曜日 授業日数 年間30日
定員	地域づくり研究科 計50名 (歴史・文化コース、健康・福祉コース、環境・地域コース)
経費	入学金6,000円 受講料(年額)50,000円

#### 〔講座内容〕

コース名	学習目標	学習内容
歴史・文化コース	わが国や諸外国、身近な地域の歴史や文化について、自らの研究テーマに沿って研究・調査を行い、その価値について認識を深め、文化の継承・維持に努め、地域の文化の発展に寄与する能力を養います。	日本・諸外国の歴史・文化、地域の歴史・文化、伝統行事・伝統文化、文化遺産、文学、偉人、その他
健康・福祉コース	健康や福祉に関する学習をより深め、地域づくりを実践するリーダーとしての資質を養います。	健康・福祉、ボランティアグループの運営、レクリエーション、その他
環境・地域コース	地球規模から家庭サイズまで、多様な環境問題についての理解を深め、地域での実践的な環境保全活動を進める能力を養います。	環境保全と地域活動、再生可能エネルギー、日本のエネルギー消費、生物多様性、その他

### ② 阪神ひと・まち創造講座（阪神）

地域社会等での人間関係のあり方、コミュニケーションのあり方を再習得するとともに、阪神地域の歴史・文化・産業・自然などの魅力や課題等を再認識し、地域への愛着をもってコミュニティ活動等意欲の醸成とコミュニティの活性化を目指します。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	生涯学習等に関心のある56歳以上の神戸・阪神地域在住者
学習年限	2年
授業日等	授業日 第1学年＝月曜日 第2学年＝水曜日 授業日数 年間30日
定員	30名
経費	入学金6,000円 受講料(年間)25,000円

〔講座内容〕

学習目標	学習内容	学習場所
阪神地域の歴史、文化、産業、自然などの魅力や課題を知るとともに、地域社会における人間関係のあり方や様々な地域活動について学習します。また、地域課題の解決に向けて、シニア世代として何ができるのかを考え、ボランティア活動等の実践を通じて、健康保持・増進、生きがいつくり、仲間づくりにつなげます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間をつくる (コミュニケーションスキルアップ方策等)</li> <li>・地域を知る (地域の魅力、歴史、産業、自然等)</li> <li>・地域活動について理解を深め、企画、実践する。 (コミュニティビジネス、NPO、ボランティア等)</li> </ul>	伊丹学習室 (伊丹市：阪急伊丹駅隣接、伊丹ショッピングデパート7階)

③ 地域活動実践講座

ア うれしの学園生涯大学大学院講座(嬉野台)

4年制大学講座での学習を基礎として生かし、地域における課題をより専門的・実践的に学習し、知識や技能のステップアップを図るとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を目的としています。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	おおむね60歳以上の原則東播磨・北播磨地域在住で、地域での活動に関心や意欲のある方。
学習年限	2年
授業日等	開設期間 平成29年4月25日～30年3月6日(全21日間) 開講日 原則として月2回隔週火曜日
定員	30名
経費	受講料(年間)12,500円

〔講座内容〕

区分	学習目標	学習内容
1年次	「学びと実践の一体化をめざして」をテーマに、地域を知り、地域における課題に対してより実践的・主体的に取り組むための知識や技能の習得を行います。	地域活動実践の基礎的知識や技能、地域の歴史・文化・自然・産業などの地域の魅力を学ぶと共に、興味関心に基づいて活動テーマを探し、グループ毎に地域活動実践を行います。
2年次	主体的な地域活動を実践し、発表を行い、修了後も、学びの成果を地域社会へ還元し、無理なく楽しく地域実践活動を続けていくことをめざします。	1年次の学習をもとに、地域活動の基礎的知識や技能、テーマに関する専門的事項を学ぶとともに、グループ毎に調査・研究・体験などの地域活動を実践します。 活動の内容や成果を冊子にまとめ、実践発表を行います。

イ 但馬文教府みてやま学園（地域活動実践講座）（但馬）

高齢者大学等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について総合的・体系的に学習することにより、地域づくり活動などに主体的に取り組む意欲を醸成するとともに、実践力を習得することで、地域づくり活動等の実践者を養成します。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	但馬地域在住で県立4年制高齢者大学講座又は市町立の高齢者大学等を修了した者 地域活動に意欲のあるおおむね60歳以上の者
学習年限	2年
授業日等	開設期間 平成29年4月14日～30年3月2日（全21日間） 開講日 原則として月2回隔週火曜日
定員	30名
経費	受講料（年間）12,500円

〔講座内容〕

区分	学習目標	学習内容
1年次	高齢者大学等での学習をもとに、実践的な社会参加活動に必要な基礎的な知識や技能を習得します。	基礎講座 ・ボランティア活動や社会福祉、子育て、地域づくりについて学ぶ。 ・ワークショップの手法やパソコンの基本的な操作について学ぶ。 実践講座 ・但馬地域にある地域活動の資源を探る。 ・豊岡短期大学と連携し、豊岡短期大学の学園祭でも実践発表する。 ・グループ別活動に向けた取組をすすめる。

<b>2 年 次</b>	グループ別実践活動を充実するとともに、実践的な社会参加活動への意欲を高めます。	応用講座 ・グループ別実践活動のテーマをもとに学ぶ。 実践講座 ・実践活動発表会で内容や成果を発表するとともに、研究冊子にまとめる。
----------------------	---	---

#### ウ 西播磨文化会館ゆうゆう学園（地域活動実践講座）（西播磨）

高齢者大学等の基礎的な学習を生かし、地域における課題に対してより実践的・専門的に高齢者自らが主体となって取り組み、地域づくり活動などの実践能力を習得するとともに、その成果を地域社会に還元できる人材の育成を目的としています。

#### 〔入学資格・定員等〕

<b>入学資格</b>	中播磨・西播磨地域在住で県立4年制高齢者大学講座又は市町立の高齢者大学等を修了した者 地域活動に意欲のある概ね60歳以上の者
<b>学習年限</b>	2年
<b>授業日等</b>	開設期間 平成29年4月28日～30年3月9日（全22日間） 開講日 原則として月2回隔週木曜日
<b>定員</b>	30名
<b>経費</b>	受講料（年間）12,500円

#### 〔講座内容〕

区分	学習目標	学習内容
<b>1 年 次</b>	高齢者大学講座等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について総合的・体系的、かつ実践的に学習することにより、地域づくり活動などへの主体的な取組意欲を醸成し、実践者としての資質を養います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎講座 地域活動に関する実践事例や企画運営の手法等を学ぶ。</li> <li>・現地体験学習（学外研修等）</li> <li>・自主企画講座</li> </ul>
<b>2 年 次</b>	1年間の学びの後、取組の成果を地域社会に還元することをめざし、専門コースごとに主体的・継続的な地域活動について調査・研究・実践を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用講座 専門コース（環境創造・健康福祉・地域文化）ごとに調査、研究、実践活動を行う。</li> <li>・現地体験学習（学外研修等）</li> <li>・実践報告会 2年間の学びの成果を修了レポートとしてまとめ、報告会で発表する。</li> </ul>

## エ 淡路文化会館いざなぎ学園（地域活動実践講座）（淡路）

実践的な社会参加活動について、総合的・体系的、かつ実践的に学習することにより、地域づくり活動への実践能力を習得するとともに、主体的な取り組み意欲を醸成し、地域発展に寄与できる実践者としての資質を養います。

### 〔入学資格・定員等〕

入学資格	県内在住者で県立4年制高齢者大学講座又は市町立の高齢者大学等を修了した者 地域活動に意欲のあるおおむね60歳以上で特に認められた者
学習年限	2年
授業日等	開設期間 平成29年4月26日～30年3月14日（全20日間） 開講日 原則として月2回隔週金曜日
定員	30名
経費	受講料（年間）12,500円

### 〔講座内容〕

区分	学習目標	学習内容
1年次	地域実践活動、地域の歴史・文化に関する基礎的・基本的な知識を習得します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎講座 地域実践活動に関する基礎的・基本的な知識を習得する。</li> <li>・課題演習 地域づくり活動に向けて、物づくり又は歴史、文化等の分野について専門的知識やノウハウを身につける。</li> <li>・事例研究 淡路島の特色について、歴史、文化的なことについて郷土史家や伝統芸能後継者等との交流をとおして、地域の特色について学ぶとともに淡路島の「よさ」を再発見する。</li> </ul>
2年次	1年次に学んだことを活かし、地域実践活動等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用講座 地域づくり活動への主体的な取り組み意欲の醸成と専門的な学びを深める。</li> <li>・実践演習 受講者が自らテーマを決め、主体的に調査活動等を行い、地域の特色や淡路島の「よさ」について論文にまとめる。</li> <li>・実践活動 地域イベント等実際の場で、講座で習得した技能を活かし、地域実践力を高める。</li> </ul>

## ④ 地域活動支援センター（いなみ野、阪神）

いなみ野学園及並びに阪神シニアカレッジにおいて、卒業生等へのボランティア情報提供やボランティア団体の創設・運営等を支援する「地域活動支援センター」を運営し、県高齢者大学卒業生等が行う地域づくり活動を促進します。



施設名	いなみ野学園	阪神シニアカレッジ
場所	地活第2教室	伊丹教室
主な機能	グループ登録やマッチング等の地域での実践活動のきっかけづくり。地域活動の企画・運営に関する相談、研修会、講演会の開催、広報紙の発行など活動成果の情報発信。	

### (3) 県内の高齢者大学の交流・支援

#### ① 学ぶ高齢者のつどいの開催（協会本部、いなみ野、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

県内の高齢者大学や高齢者教室で学習する高齢者が一堂に会し、日頃の学習成果の発表と研修を通じて学習を深め、学ぶ高齢者の連帯の輪を広げます。

##### ア 開催方法

県内7ブロックにおいてブロック大会を行うとともに、ブロック大会での優秀な作品の展示や意見発表を内容とする中央大会を開催します。

##### イ 事業内容

作品展、基調講演、学習成果の発表

##### ウ 中央大会の開催

- (ア) 日 時 平成29年11月24日（金）
- (イ) 場 所 兵庫県いなみ野学園
- (ウ) 参加者 県下の高齢者大学の学生350名

#### ② 高齢者学習研究協議会の運営支援（協会本部、いなみ野、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

県と市町の高齢者大学等の担当者を対象に、高齢者の生涯学習に関する連携事業の実施、共同研究及び情報交換を図る場を設けることにより、県内の高齢者学習の質的向上と一体的な推進を図ります。

##### ア 実施方法

ブロック代表者会議、ブロック会議及び全県研修会を開催します。

【ブロック】阪神、東・北播磨、中・西播磨、但馬、丹波、淡路、いなみ野学園、放送大学

##### イ 研究、協議事項

- (ア) 高齢者大学、高齢者教室等の運営及び連携事業に関すること。
- (イ) 高齢者の生涯学習の情報交換に関すること。
- (ウ) その他、高齢者の生涯学習を促進するために必要な事項に関すること。

### (4) 地域づくり活動の普及促進

#### ① 地域活動支援センター（いなみ野、阪神）（再掲 P26）

#### ② 地域づくり活動を支援する仕組み（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

県高齢者大学卒業生等が行う地域づくり活動を促進するため、卒業生等へのボランティア情報提供やボランティア団体の創設・運営等を支援する「中間支援組織」の構築を目標として、地域高齢者大学がこれまで培ってきた地域づくり活動を支援する仕組みの充実を図ります。

### ③ 県民交流広場を活用した地域づくり活動への支援

(いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)

身近な地域の拠点である県民交流広場での活動を支援する、高齢者大学卒業生等のボランティアグループの事業を助成し、地域づくり活動の実践を促します。

- ・ 対象者 県民交流広場活動を支援する高齢者大学卒業生等の地域活動グループ

## (5) 生きがいづくり活動の支援

### ① シニアニューススポーツの普及支援（協会本部）

高齢者の健康づくりと社会参加を推進するため、グラウンド・ゴルフをはじめとするシニアニューススポーツを普及します。

さらに、普及促進のため、当協会が開発したツウゲットボールの全県大会を開催します。

(ツウゲットボール全県大会)

- ・ 実施時期 平成29年11月6日(月)
- ・ 実施場所 嬉野台生涯教育センター 多目的グラウンド
- ・ 参加者数 160名(32チーム)

### ② 全国健康福祉祭への選手派遣（協会本部）

秋田県で開催される第30回全国健康福祉祭(ねんりんピック)に兵庫県選手団を派遣します。

- ・ 会期 平成29年9月9日(土)～12日(火)
- ・ 選手団 170名程度

### ③ ニュースレター「生きがい通信」(協会本部)

高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報などを紹介するニュースレターを作成し、ホームページに掲載することにより、高齢者の豊かなライフスタイルの創造や、参画と協働による地域社会への貢献についての県民の意識啓発を図ります。

- ・ 発信回数：年3回

### ④ 高齢者手づくりの店(協会本部)

高齢者が、趣味、創作活動として製作した手工芸品や民芸品、育成した野菜・花などを展示紹介するとともに販売する場として運営しています。

ア 出品物 野菜、花き、果物、苗、菓子、手芸品など

イ 施設の概要 木造平屋建寄棟造 117.9㎡

ウ その他 常設店の他にいなみ野学園祭や地域のイベントにも出店するほか、淡路文化会館内でも販売しています。

### ⑤ 高齢者園芸センター(協会本部)

高齢者が土と親しみ作物を育てることを通じて健康を増進するとともに、地域や世代間の心のふれあいと交流を図る場として運営します。

## ア 事業

(ア) 指導者付貸農園（ファミリーファーム）の運営

- 区画数 448区画  
(16.5㎡; 395区画、30㎡; 14区画、32㎡; 39区画)
- 利用料 16.5㎡ 7,200円/年  
30㎡及び32㎡ 18,000円/年

(イ) 園芸講座の開催

年間10回(5月~2月)実施

受講料 1,000円/年(貸農園利用者は無料)

(ウ) 柿の実オーナー事業の実施

(エ) 野菜・草花・果物・苗等の販売

## イ 施設の概要

- ファミリーファーム 11,620㎡
- 農園 4,415㎡
- 果樹園 6,330㎡
- 管理棟 176㎡

## ⑥ 高齢者陶芸の村(協会本部)

高齢者が作陶活動を通じて、仲間と共に生きがいを創造する場として、会員の自主運営により実施しています。

### ア 会員の入村・利用料等

(ア) 会員: 60歳以上の者

(イ) 入村料: 12,000円

(ウ) 利用料: 月額3,500円(3月分前納)

(エ) 材料費・焼成費: 粘土10kgにつき2,300円

(オ) 作陶日: 週2回(月・火と木・金の2班)

指導員が作陶焼成等の指導にあたります。

### イ 地域への開放

地域の人々に施設を開放し、広く陶芸の普及と世代間交流を図ります。

(ア) 利用料: 一人1日500円

(イ) 材料費・焼成費: 粘土1kgにつき530円

(ウ) 指導員が作陶焼成等の指導にあたります。

(エ) 作陶日: 毎週水曜日

### ウ 施設の概要

敷地: 2,820㎡

建物: 721.78㎡

- 作業棟3棟: 451.11㎡
- 窯棟3棟: 120.43㎡
- 乾燥製品棟: 72.00㎡
- その他: 78.24㎡

### 3 地域文化活動の振興及び支援

#### (1) 地域文化活動の振興

	事業名	事業概要	主な実施団体
① 嬉野台生涯教育センター	ア うれしの春のフェスティバル	施設開放を行い、芸術、文化、スポーツ、地域活動団体の交流などを通じて、家族間、世代間、地域間の交流の促進を図るとともに、利用者の拡大を図る。 実施日：平成29年5月4日 参加者数：約3,000人	うれしの春のフェスティバル実行委員会
	イ うれしのまるごとギャラリー	年間を通じて絵画、写真、書、木彫、陶芸、染色等を展示することで作品発表と鑑賞の場を提供する。 実施日：通年 出展数：約200点	センター自主事業
	ウ 東はりま大茶会	茶道文化の交流事業を実施し、伝統文化の保存・継承を図るとともに地域文化の振興を図る。 実施日：平成29年10月 参加者数：約700人	東播磨文化団体連合会、東はりま大茶会実行委員会
	エ 東はりまみんなよう大会	みんなように取り組む団体の交流事業を実施し、伝統芸能の継承を図ることにより地域文化の振興を図る。 実施日：平成30年1月 参加者数：約500人	東播磨文化団体連合会、東はりまみんなよう大会実行委員会
	オ 東はりまコーラス大会	合唱団体による発表と交流の場を提供することで、音楽団体の育成を図るとともに、地域文化の振興を図る。 実施日：平成29年10月 参加者数：約500人	東播磨文化団体連合会、東はりまコーラス大会実行委員会
	カ 東はりま芸能祭	芸術活動を進める団体に発表の場と交流の機会を提供し、団体の育成を図るとともに、広く県民に鑑賞の場を設けることで地域文化の振興を図る。 実施日：(未定) 参加者数：約500人	東播磨文化団体連合会、東はりま芸能祭実行委員会
	キ 東播磨選抜美術展	公募による美術展を開催し、優れた作品にふれる機会を設けるとともに、創作意欲を喚起することで地域における文化活動の活性化を図る。 実施日：(未定) 参加者数：約500人	東播磨文化団体連合会、東播磨選抜美術展実行委員会

	キ 東播磨の地域文化を考える会	東播磨・北播磨地域各市町文化協会・団体の会長及び会員が一堂に会し、地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行う機会とする。 実施日：平成30年3月 参加者数：約100人	東播磨文化団体連合会
	ケ 文芸誌「東はりま文化子午線」の発行	東播磨・北播磨地域の県民を対象に、短歌・俳句・川柳・詩・随筆等の作品を公募して文芸誌を作成し、地域文化の活性化を図る。 実施日：平成30年3月 発行部数：1,500部	東播磨文化団体連合会、東はりま文化子午線発行委員会
	7 文教府夏期大学	県民の教養を高め、こころ豊かに暮らすため、斯界の第一人者を招き講演会を開催する。 実施日：平成29年8月19日(土) 実施場所：豊岡市民会館文化ホール 参加者数：約1,000人	但馬文教府夏期大学実行委員会
	イ 但馬美術展	日本画・油彩画・水彩画・版画・ミクストメディアの5部門からなる公募展を実施し、表彰する。 実施期間：平成29年8月4日(金)～10日(木) [予定]	芸術文化振興事業実行委員会
② 但馬文教府	ウ ふるさとの心をうたう但馬合唱祭	但馬各地の合唱団体が一堂に会し、日頃の練習成果を発表しあい、交流の輪を広げる。 実施日：平成29年11月23日(木・祝) 参加者数：約1,000人・約40団体	芸術文化振興事業実行委員会
	エ 但馬歴史講演会	但馬史へ理解を深め郷土愛を育むため、但馬の歴史や遺跡等についての講演会を実施する。 実施日：平成30年1月28日(日) [予定]	芸術文化振興事業実行委員会
	オ 但馬文学のつどい「たじま作品集」の発行	短歌、俳句、冠句、川柳の合同作品展と研さん交流の会を開催するとともに、但馬在住者及び但馬のグループに所属する人を対象に短歌・俳句・冠句・川柳、詩を募集し、短詩型文学『たじま作品集』として発行する。 実施日：平成29年11月18日(土) たじま作品集の発行日：平成30年3月	但馬文学のつどい企画運営委員会
③ 西播磨文化会館	7 播州段文音頭大会	地域に唄い継がれてきた播州段文音頭の保存会が一堂に集まって交流することで、活動の活性化とともに、地域文化の振興を図る。 実施日：平成29年8月26日(土) 参加者数：約300人	播州段文音頭大会実行委員会

<p><b>イ ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭</b></p>	<p>中播磨・西播磨各地で活動している合唱団等の音楽活動団体に発表と交流の場を提供し、それら団体の育成を図るとともに、中播磨・西播磨の特色ある芸術文化活動の向上を図る。</p> <p>実施日：平成29年12月3日（日）  実施会場：山崎文化会館  参加者数：約400人・15団体</p>	<p>西播磨ふるさと芸術文化振興事業実行委員会</p>
<p><b>ウ 西播磨ふるさと写真展</b></p>	<p>作品を通し、明日の西播磨を考える機会を提供するとともに、作品の鑑賞を通して、互いの技量の向上や交流の輪の拡大を目指し、地域文化の活性化を図る。</p> <p>テーマ：中・西播磨の自然と文化  募集期間：平成29年7月3日(月)～31日(月)  表彰式：平成29年9月9日（土）</p>	<p>西播磨ふるさと芸術文化振興事業実行委員会</p>
<p><b>エ 西播磨短歌祭</b></p>	<p>中播磨・西播磨地域の短歌愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図る。</p> <p>募集期間：平成29年7月3日（月）  ～9月14日（木）  実施日：平成29年10月29日（日）</p>	<p>西播磨ふるさと芸術文化振興事業実行委員会</p>
<p><b>オ 西播磨俳句祭</b></p>	<p>中播磨・西播磨地域の俳句の愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図る。</p> <p>募集期間：平成29年7月3日(月)9月7日(木)  実施日：平成29年10月21日（土）</p>	<p>西播磨ふるさと芸術文化振興事業実行委員会</p>
<p><b>カ 淡路人形浄瑠璃の振興</b></p>	<p>「淡路人形浄瑠璃魅力発信事業」として公演などを通して、淡路人形浄瑠璃の魅力を発信するとともに、後継者の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育関係者を対象とした淡路人形浄瑠璃体験講座の実施</li> </ul> <p>実施日：平成29年8月3日（木）  対 象：淡路地域の小中高等学校の教員</p>	<p>淡路人形浄瑠璃魅力発信事業実行委員会</p>
<p><b>キ 淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会</b></p>	<p>淡路人形浄瑠璃や阿波人形浄瑠璃など、淡路に影響を受けた全国の人形浄瑠璃後継者団体等と連携し、後継者の交流と発表の機会をつくとともに、各団体のネットワーク化と全国への情報発信を推進する。</p> <p>実施日：平成29年7月22日（土）～23日（日）  会 場：洲本市文化体育館  出演者：島内外後継者団体（中・高校等）</p>	<p>淡路人形浄瑠璃魅力発信事業実行委員会</p>

<p>ウ 淡路島民俗芸能フェスティバル</p>	<p>淡路の伝統芸能や淡路島をテーマにした創作芸能等に取り組む団体と徳島で活動する伝統芸能等に関わる団体等が一堂に会し、それぞれの活動を発表することで、後継者の育成や発掘を目指す。</p> <p>実施日：平成29年11月19日（日） 会 場：淡路文化会館</p>	<p>淡路島民俗芸能フェスティバル実行委員会</p>
<p>エ 淡路だんじり唄コンクール</p>	<p>淡路の「だんじり唄」の保存・継承を目的としてコンクールを開催し、地域文化の発展を目指す。（島内3市持ち回りで開催）</p> <p>実施日：平成29年4月23日（日） 会 場：南あわじ市中央公民館</p>	<p>淡路だんじり唄コンクール実行委員会</p>
<p>オ 淡路日本画セミナー</p>	<p>日本画の創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培うことを目的として開設する。</p> <p>初級、中級の2コースに分けて開催 年間10回 定員：初級20名、中級25名</p>	<p>運営協議会</p>
<p>カ 淡路洋画セミナー</p>	<p>洋画の創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培う機会を提供する。</p> <p>年間10回 定員：40名</p>	<p>運営協議会</p>
<p>キ スプリングコンサート</p>	<p>淡路島内の音楽関係団体や愛好家に発表と交流の機会を提供し、淡路地域の音楽芸術文化活動の向上及び裾野の拡大に努める。</p> <p>実施日：平成30年3月4日（日） 会 場：淡路市立サンシャインホール</p>	<p>運営協議会</p>
<p>ク 第36回全淡短歌祭</p>	<p>短歌作品を募集し、入選者を選定するとともに、作品の講評や講演会をとおして、淡路地域の短歌愛好家の交流と創作意欲の高揚を図る。</p> <p>実 施 日：平成29年7月中旬予定</p>	<p>淡路文化団体連絡協議会</p>
<p>ケ 第41回淡路島俳句大会</p>	<p>俳句作品を募集し、入選者を選定するとともに、作品の鑑賞をとおして、淡路地域の俳句愛好家の交流と創作意欲の高揚を図る。</p> <p>実 施 日：平成29年11月12日（日）</p>	<p>淡路文化団体連絡協議会</p>
<p>コ 第39回淡路文学作品展</p>	<p>淡路島内の短歌・俳句・雑排作品を作者自身の手で書写し、発表展示することで、淡路における短詩型文学の振興を図る。</p> <p>実施日：平成29年12月上旬予定</p>	<p>淡路文化団体連絡協議会</p>

(2) 地域文化活動の支援

支援団体等		支援内容
② 但馬文教府	① 嬉野台生涯教育センター	<p>ア 東播磨文化団体連合会への支援</p> <p>東播磨・北播磨地域内の各種文化団体の連携と研修を深め、地域の芸術文化の高揚を図ることを目的として設立された東播磨文化団体連合会が実施する各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉</p> <p>地域文化団体との連携調整をはじめ、「東播磨の地域文化を考える会」の開催や文化情報・文芸誌「東はりま文化子午線」の発行など</p>
		<p>ア 但馬文化協会への支援</p> <p>但馬地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された但馬文化協会が実施する各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉</p> <p>地域文化団体との連絡調整をはじめ、但馬文化協会機関紙「KOHNOTORRI」発行、ふるさと芸術文化振興事業等</p>
		<p>イ 但馬芸術文化会議への支援</p> <p>但馬地域住民の芸術・文化活動の振興を目的として設立された但馬芸術文化会議が取り組む各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉</p> <p>地域文化団体との連絡調整をはじめ、チャリティ小品展の開催運営支援、但馬文化賞・青少年文化奨励賞の実施、機関紙「芸文たじま」の発刊など</p>
		<p>ウ 但馬美術協会への支援</p> <p>但馬地域の美術（絵画）振興を図り、郷土文化の向上に寄与することを目的として設立された但馬美術協会の事業、活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉</p> <p>地域文化団体との連絡調整をはじめ、但馬美術展の開催、但馬美術協会報の発行など</p>
	<p>エ 但馬市郡婦人会連絡協議会への支援</p> <p>但馬各市町地域婦人会相互の連絡を密にし、但馬のくらしと文化の促進を図り、婦人の資質向上と地域の発展を目指すことを目的として設立された但馬市郡婦人会連絡協議会の各種事業、活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉</p> <p>地域文化団体との連携調整をはじめ、但馬市郡婦人会交流会、但馬文教府と共催で実施する研修会など</p>	



<p>③ 西播磨文化会館</p>	<p>ア 西播磨文化協会連絡協議会への支援</p>	<p>中播磨・西播磨地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された西播磨文化協会連絡協議会が取り組む各種事業や活動等を支援        〈支援内容〉        地域文化団体との連絡調整をはじめ、子ども伝統文化発表会、西播磨地域ふれあい文化交流会、新年文化交流会の開催、機関誌「西播磨文化」の発行など</p>
<p>④ 淡路文化会館</p>	<p>ア 淡路文化団体連絡協議会への支援</p>	<p>淡路地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的とした設立された淡路文化団体連絡協議会が実施する各種事業や活動等を支援        〈支援内容〉        地域文化団体との連絡調整をはじめ、ふるさと文化交流事業の開催や機関誌「あわじ」の発行等</p>

## 4 財団の健全経営及び県立施設の適正管理

### (1) 財団の健全経営

#### ① 経営戦略会議と生きがい創造会議未来100（協会本部）

協会幹部による経営戦略会議において、協会が一体となって経費節減及び収入増のための取組等を協議するとともに、平成27年度設置の「生きがい創造会議未来100」において経営ビジョン策定、いなみ野学園開設50周年、協会創立40周年等記念事業に関して関係幹部の情報共有を進め、その円滑な推進を図ります。

#### ② 広報推進員等による情報発信（協会本部）

協会のイメージアップを図る広報戦略を推進するため、「広報推進員制度」を活用し、各施設・事業ごとの適切な広報計画の作成や、時宜を得た広報事業を展開するとともに、ホームページ等での積極的な情報発信を図ります。

#### ③ いなみ野キャンパスの施設利用活性化（協会本部、いなみ野）

いなみ野キャンパスが地域に親しまれ、生涯学習や地域貢献に寄与する施設として広く活用されるよう適切な利用を促進します。

#### ④ ④生きがい創造協会創立40周年記念事業（協会本部）

生きがい創造協会設立40周年を記念して、いなみ野学園生や卒業生、一般県民を対象とした公開講座を開催し、生きがい創造協会の更なる知名度向上を図ります。

日時 平成29年12月10日（日）

会場 いなみ野学園 大講堂

講師 辛坊治郎（大阪総合研究所代表）〔予定〕

定員 500名

### (2) 便利で親しまれる県立施設の適正管理

#### ① 施設の効率的運営と学習・地域づくり活動活性化（協会本部、嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

県から指定管理を受託している嬉野台生涯教育センター、但馬文教府、西播磨文化会館及び淡路文化会館については、協会と各施設が一体となって、施設の効率的運営、施設を利用した活動活性化の努力を引き続き積み重ねます。

#### ② ②文化会館等の活性化（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

文化会館等において日常的・継続的な賑わいを創出するため、地域の各種団体等が参画し、協働する活性化事業を実施します。

実施方法 文化団体、地域団体、高齢者大学生・OB会、友の会、生活創造活動グループ、NPO等との協働で企画・実施

事業費 300万円（1施設あたり）

事業例

施設名	内容
嬉野台生涯教育センター	北播磨ふるさと発見連続講座 等
但馬文教府	ふるさと芸術祭、親子ふれあいひろば 等
西播磨文化会館	子ども芸能発表会、播磨「歴史・地域学」講座 等
淡路文化会館	芸術鑑賞会、文化講座 等